

2. 活動報告

- 平成20年 4月 1日 学長戦略調整費による「瀬戸内圏研究プロジェクト」の立ち上げ
- 平成21年 2月16日 平成20年度香川大学プロジェクト研究報告会
- 平成21年 3月 1日 瀬戸内圏研究センター設立
- 平成21年 3月 3日 瀬戸内圏研究センター設立シンポジウムの開催
- 平成21年 7月21日 香川大学瀬戸内圏研究センター情報拠点機能強化推進事業（香川県ふるさと雇用再生特別基金事業）の開始
- 平成21年11月21日 瀬戸内圏研究プロジェクト中間報告会の開催
- 平成22年 2月 4日 瀬戸内圏研究センター学術講演会の開催
講演内容は4. 学術講演会に掲載している。
- 平成22年 3月19日 瀬戸内圏研究シンポジウムの開催
「干潟を含めた浅海域の生態系研究」「瀬戸内圏の地域文化の発見と観光資源の創造」「瀬戸内圏における生涯健康カルテ（EHR）ネットワーク構想」の2年間の成果を、広く一般の方々に紹介した。これらの成果は3. 学長戦略調整費によるプロジェクト研究報告において詳述する。

瀬戸内圏研究センターの主要な役割に関する報告

行政、企業等との協議会および活動団体や地域住民からの意見を収集して新たな検討課題を発掘、それらを反映させるための施策の検討、セミナーやシンポジウム等の開催、研究成果の公開、行政、企業等との受託研究や共同研究の推進、瀬戸内圏研究に関する情報の収集とデータベース化を実施した。

(1) 学長戦略調整費による「瀬戸内圏研究プロジェクト」研究推進支援

プロジェクト研究は平成20年4月から下記の4課題で開始したが、研究代表者井原理代教授の退職のために最後の課題を中止とし、平成21年度から3研究課題で推進した。

平成20年度瀬戸内圏研究プロジェクト

研究課題名	研究代表者
・干潟を含めた浅海域の生態系研究	農学部 多田邦尚
・瀬戸内圏の地域文化の発見と観光資源の創造	経済学部 稲田道彦
・瀬戸内圏における生涯健康カルテ(EHR) ネットワーク構想	医学部 原 量宏
・瀬戸内圏における島居住・交流の在り方 に関する調査研究	地域マネジメント研究科 井原理代

(2) セミナーやシンポジウム等の開催、研究成果の公開

2. 活動報告で記すシンポジウム、学術講演会等を開催し、意見交換を通して、行政・研究機関、企業、活動団体や地域住民等からの情報を幅広く収集し、シンポジウム、書籍（「瀬戸内圏の地域文化の発見と観光資源の創造」）や2冊のパンフレット（「素顔の直島～直島の現状と直島プロジェクトの歩み～」、「瀬戸内海の両墓制を訪ねる旅 20年前の島の墓地の写真をてがかりにして」）、および年度報告書を作成して、社会に成果を還元した。

(3) 行政や企業等との地域連携による受託研究や共同研究等の実施

香川県が実施する「香川県ふるさと雇用再生特別基金事業」に採択され、香川大学瀬戸内圏研究センター情報拠点機能強化推進事業を開始した。

(4) 瀬戸内圏研究に関するデータベースの作成、様々な情報の集積、分析および発信

ホームページを開設した。今後、ホームページからのダウンロードにより、データベースから起草された総説が閲覧できるように作業中である。